

令和5年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(令和4年度事務事業対象)

令和6年2月
宇土市教育委員会

―目 次―

I	点検・評価制度の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
1	経緯	・ ・ ・ ・ ・	2
2	目的		
3	対象事業の選定方法		
4	学識経験者の知見の活用		
5	教育委員会としての今後の方向性	・ ・ ・ ・ ・	3
II	点検・評価の結果	・ ・ ・ ・ ・	5
	事業名一覧	・ ・ ・ ・ ・	6
1	学校ICT環境整備事業（新型コロナウイルス対策分）	・ ・ ・ ・ ・	7
2	一時預かり保育事業（宇土幼稚園・花園幼稚園）	・ ・ ・ ・ ・	8
3	特別支援教育総合推進事業	・ ・ ・ ・ ・	9
4	就学援助（小中学校）事業	・ ・ ・ ・ ・	10
5	地域学校協働活動推進事業 （地域学校協働活動推進員配置事業）	・ ・ ・ ・ ・	11
6	地域学校協働活動推進事業 （放課後子ども教室推進事業）	・ ・ ・ ・ ・	12
7	子ども見守りボランティア事業	・ ・ ・ ・ ・	13
8	地域教育力活性化事業	・ ・ ・ ・ ・	14
9	史跡宇土城跡保存整備事業	・ ・ ・ ・ ・	15
10	大太鼓活用事業	・ ・ ・ ・ ・	16
11	図書館蔵書充実事業	・ ・ ・ ・ ・	17
12	宇土市学校給食等支援金事業	・ ・ ・ ・ ・	18
III	教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	19
1	委員会議の開催状況	・ ・ ・ ・ ・	20
2	総合教育会議	・ ・ ・ ・ ・	22
3	その他の活動状況	・ ・ ・ ・ ・	23
	宇土市教育委員会委員名簿	・ ・ ・ ・ ・	23

I 点検・評価制度の概要

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、事務局職員を、様々な属性を持った複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意思決定を行うものです。

事務の点検・評価は、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 対象事業の選定方法

点検評価の対象事業は、行政の政策や施策、事務事業を有効性、効率性などの視点から一定の物差し（指標）によって客観的に評価し、事務改善や分かりやすく透明性の高い市政運営につなげていくために実施された「宇土市事務事業評価」の評価体系に準じ、教育委員会が実施した全事務事業の中から、事業費が多額にわたるもの、社会的関心が高いものなど、事業の在り方を検証する必要性が高いと判断される12事業を選定しました。

4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、担当課が行った点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む4名の外部評価委員に、対象事業についてのご意見をいただきました。

外部評価委員名簿

氏 名	職業等	委嘱期間
田口 剛	宇土市文化協会 会長	令和5年10月10日から令和7年3月31日まで
伊勢 聰	放課後子ども教室 コーディネーター	令和5年10月10日から令和7年3月31日まで
高田 勝廣	元走湯公民館長	令和5年10月10日から令和7年3月31日まで
上野 真央	市P連副会長	令和5年10月10日から令和7年3月31日まで

5 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会としての今後の方向性を下記4つの中から選択しました。

拡充	事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
維持	おおむね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
要改善	現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
廃止・完了	事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 点検・評価の結果

事業名一覧

	事業名	担当課
1	学校ICT環境整備事業 (新型コロナウイルス対策分)	学校教育課
2	一時預かり保育事業 (宇土幼稚園・花園幼稚園)	学校教育課
3	特別支援教育総合推進事業	学校教育課
4	就学援助（小中学校）事業	学校教育課
5	地域学校協働活動推進事業 (地域学校協働活動推進員配置事業)	生涯活動推進課
6	地域学校協働活動推進事業 (放課後子ども教室推進事業)	生涯活動推進課
7	子ども見守りボランティア事業	生涯活動推進課
8	地域教育力活性化事業	中央公民館
9	史跡宇土城跡保存整備事業	文化課
10	大太鼓活用事業	文化課
11	図書館蔵書充実事業	図書館
12	宇土市学校給食費等支援金事業	学校給食センター

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校ICT環境整備事業 (新型コロナウイルス対策分)	担当課	学校教育課
事業目的	新型コロナウイルス感染症により、休校となった場合でも、GIGAスクール構想で整備したタブレットを活用しオンライン授業や、授業支援ソフト等による自宅学習の推進を図るため。		
事業内容	GIGAスクール構想により、児童生徒一人一台のタブレット端末が整備され、高速大容量の通信環境を整備した。教職員用タブレットも対象となっていたが、当初は、担任等限定的に導入。全ての教職員にタブレット端末を整備するため、追加購入することとなった。さらに、ハード的な整備だけでは、運用上難しいため、小中学校向けの授業支援ソフトの導入により、ソフト面でもGIGAスクール構想の推進を図る。		
R4年度の進捗状況	小学校向けの授業支援ソフト及び学習支援ソフト「スマイルネクスト」を導入済だが、令和4年度からは、オフライン対応にバージョンアップした。 中学校向け授業支援ソフト及び学習支援ソフト「eライブラリ」を導入した。学習支援ソフトについては、オフラインでも対応可能 電子黒板（実物投影機もセット）を90台整備済		
課題・問題点	自宅にWi-Fi環境が無い場合でも、利用できるようオフラインで学習支援ソフトを整備したが、タブレット端末の持ち帰りには、学校やクラスごとに差が生じている。また、低学年にとっては、タブレット端末自体が重く、毎日持ち帰るのは負担となる。		
予算額・決算額	R02 予算額 96,422千円 R03 予算額 63,215千円 R04 予算額 74,333千円	R02 決算額 95,907千円 R03 決算額 60,595千円 R04 決算額 74,061千円	
担当課 自己評価	各学校へは、持ち帰りを基本とし自宅でタブレットの充電を行っていただくよう通知した。昨年度に比べて持ち帰りは進んだが、まだ実施できていない学校もあり、できるところから順に進めていく。		
(外部評価委員からの意見)			
・GIGAスクール構想のICT環境整備でソフト・ハード両面から整備（対応）がなされ、ありがたい幸いです。タブレットの持ち帰りには苦労するかもしれませんが、家庭においても十分学習ができるものと思われる。 ・各学校での学習支援ソフトの活用に差があるようだが、児童生徒の活用がうまくできない原因を分析し、できるだけ活用できる環境を整えて学校の授業や家庭学習等で十分活用できる体制が望まれる。 ・各学校の担任や担当者等からどのような意見や要望が上がっているのか教えてほしい。 ・GIGAスクール構想に基づき、ソフト面とハード面の両方から、ICT環境整備の充実を図ってほしい。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
学校から最も多く寄せられる意見等としては、「児童生徒のタブレットが動かない（起動しない、インターネットに繋がらない）」があります。原因としては、タブレットの容量不足による起動不良が主な原因で、現在はその都度対応している状況です。 次期タブレットの導入では、ソフトウェアや機種等も踏まえて選定したいと考えております。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃止・完了		

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	一時預かり保育事業 (宇土幼稚園・花園幼稚園)	担当課	学校教育課
事業目的	保護者の就労形態の多様化等により、家庭において保育を受けることが一時的に困難になった園児を預かることで、保護者の子育てを支援するため。		
事業内容	保護者の就労形態の多様化等により、家庭における保育が一時的に困難となる状況が増えており、幼稚園児に対して一時預かり保育が必要とされている。そこで、平成27年度から一時預かり保育を市内公立幼稚園において開始した。しかし、園児数が年々減少しており、実施時間を令和2年度から、午前7時30分から午前9時まで、及び午後3時から午後6時までに拡充し、さらに、長期休業中は、午前7時30分から午後6時までに拡充し園児増加を図っている。 また、令和元年10月から保育料無償化が始まり、新2号認定を受けた園児については、預かり保育料無料（上限あり）となっている。		
R4年度の進捗状況	平日の一時預かりは、宇土幼稚園で173日、花園幼稚園で171日実施。長期休業日は、宇土幼稚園で44日、花園幼稚園で41日実施した。 幼稚園児一時預かり保育の一日平均利用園児数は、平日で宇土幼稚園：12.4人、花園幼稚園：21.4人で、長期休業日では、宇土幼稚園：8人、花園幼稚園：13.4人であった。 年度途中の異動も含め、宇土幼稚園で24人、花園幼稚園で45人の合計69人が就労等の理由により、新2号認定を受け、無償化の対象となっており、昨年度と認定者は同じであるが、利用者は減少している。		
課題・問題点	一番の課題は、園児数自体の減少です。次に、一時預かりを担う会計年度任用職員の確保が難しい点です。特に一時預かりを始める時間帯や、終わる時間帯まで就労条件にした場合が、募集がほとんどありません。		
予算額・決算額	R02 予算額 29,310千円 R03 予算額 19,864千円 R04 予算額 19,913千円	R02 決算額 12,999千円 R03 決算額 15,697千円 R04 決算額 15,954千円	
担当課 自己評価	令和4年度は、募集する会計年度任用職員数に対し、採用数が少なく、両園に負担をかけてしまった。令和5年度に向け、時給の見直しを行った。		
(外部評価委員からの意見)			
・園児数が年々減少したため、一時預かり保育の時間の拡充を図ったということで、職員の雇用に苦労されたと思われる。 ・一時預かり保育の充実のため、会計年度任用職員の採用がおおむね確保されてきていることはありがたい。 ・令和4年度は、会計年度任用職員が少なかった問題も令和5年度には解決したとの説明を受けた。引き続き、雇用の確保に努めていただきたい。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
今後も、園児数の確保のため、一時預かり保育を継続してまいります。 また、会計年度任用職員の確保のために、資格の見直しや、幅広い人材確保に努めてまいります。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了		

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃 止 ・ 完 了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育総合推進事業	担当課	学校教育課			
事業目的	・インクルーシブ教育の理念の基に、発達障がいを含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談を行い、自立に向けた支援を行う。 ・各中学校区（地域）において周囲の理解を促し、関係機関との連携を充実させるため、特別支援教育コーディネーター会議を実施したり、特別支援学校など専門性の高い教諭の指導（巡回相談）を受けたりすることで、より一層の本市の特別支援教育の充実を図る。 ・医療的ケアが必要な児童生徒の支援を図る。 ・子育て世代包括支援センター（保健センターに併設）と協力し、就学に関する悩みを抱える保護者向けに相談を行い、適切な就学につなげる。					
事業内容	・宇土小及び花園小に合理的配慮協力員を配置し、特別支援学級や通級指導教室の円滑な運営及び保護者対応を行っている。 ・市内小中学校特別支援学級への巡回相談（特別支援学校教諭等）の実施 ・特別支援連携協議会及び各中学校区コーディネーター会議の開催により、地域における特別支援教育の現状と課題を共有したり、幼保小中連携体制の現状と課題を共有したりし、課題解決に向けた取組を行っている。 ・医療的ケアが必要な児童生徒に対する支援として看護師を配置（令和5年度から花園小学校に看護師を2名配置。） ・発達について悩みを持つ就学前児童及び小中学校児童生徒を持つ保護者を対象とした教育相談の実施（令和4年度から保健センター内子育て世代包括支援センターの協力を得て実施）					
R4年度の進捗状況	・教育相談員の派遣により発達障がいを含む障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、一人ひとりの特性に応じたきめ細やかな教育支援が図られた。 ・就学相談及び教育相談を実施することで、就学前から中学校に至るまでの切れ目のない支援を行うことができ、スムーズな就学につなげることができた。また、子育てに悩みを抱える保護者の負担軽減にもつながった。 ・専門的な知識を有する特別支援学校教諭等に巡回相談を依頼し、各校で指導方法などを教示してもらった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となっていた特別支援連携協議会を、関係機関を参集する形で開催した。 ・医療的ケア児の受け入れ体制の整備を行った。（「学校における医療的ケアに関するガイドライン」を作成した。）					
課題・問題点	特別支援教育の推進に係る人員の確保及び予算の確保が今後の課題である。 また、個人情報保護が厳守される中で、行政関係機関との情報連携をいかにに行い、次につなげていくかが課題である。 学校については、進学に当たり支援を必要とする児童生徒の個別の支援計画の引継ぎの徹底を行っていく必要がある。					
予算額・決算額	R02 予算額 6, 4 9 6千円 R03 予算額 6, 4 8 7千円 R04 予算額 2, 4 5 9千円	R02 決算額 4, 9 6 0千円 R03 決算額 5, 6 8 2千円 R04 決算額 2, 1 1 3千円				
担当課 自己評価	花園小学校において、令和5年度に医療的ケアを必要とする児童が入学予定のため、「学校における医療的ケアに関するガイドライン」の作成や看護師の確保等、医療的ケア児を受入れるための体制整備を行った。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から開催していなかった「宇土市特別支援連携協議会」を3年ぶりに開催し、関係機関との連携強化を図った。					
(外部評価委員からの意見)						
・障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、宇土市として特別支援教育の様々な指導・援助・支援などが行われ支援体制がしっかりとしている。特別支援のための人材確保に努めてもらいたい。 ・全国的な教員の人材不足による影響で支障が出ていたが、市の単独事業で充実の方向で対応していただけており、ありがたく思っている。今後も、特別支援教育の理念に沿って人員及び予算の確保に努力してほしい。 ・インクルーシブ教育の特別支援教育には、地域住民のボランティア力をもっと使えるのではないかとと思われる。						
(意見を踏まえた今後の方向性)						
・障がいのある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対しての人材確保については、学校からのニーズも高いため、今後も予算及び人員の確保に努めてまいります。 ・インクルーシブ教育については、地域学校協働活動を活用し、ボランティアでできることはないか調査・研究していきます。						
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃止・完了					

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	就学援助（小中学校）事業	担当課	学校教育課			
事業目的	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、給食費、医療費等の一部を援助するもの					
事業内容	普通交付税の措置があるが、基本的に市単独事業である。 4月認定をはじめ、年間を通して随時申請受付を行い、認定している。認定要件は、令和5年度現在で10項目あり、主に、市町村民税が非課税である者、国民年金掛金が減免された者、児童扶養手当の支給を受けている者、生活保護基準額の1.3倍未満の収入であり教育長が必要と認める者の占める割合が多い。 認定後、対象者に対し、学用品費等の支給を年3回行っている。また、新入学児童生徒については、入学前支給を実施し、制服等の購入が円滑にできるよう対応している。					
R4年度の進捗状況	平成30年度～令和4年度の支給対象件数（準要保護件数）の推移は、H30 547件、R1 466件、R2 507件、R3 530件、R4 533件となっている。令和3年度から令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり認定数が増加している。					
課題・問題点	少子化に伴う児童生徒数の減少は、年々顕著になっているが、ライフスタイルの変化や昨今の経済状況等の変化により就学援助受給者数は緩やかではあるが増加傾向にあり、継続した予算の確保が必要である。 また、学校との連携はもちろん市HP等でも周知を図り、必要な時に必要な支援が届くよう運営していく必要がある。 申請が現在紙での申請となっており、DX推進の観点から電子申請の導入を検討中である。 支給処理についても正確かつ迅速に行うためシステム等の導入ができないか検討中である。					
予算額・決算額	R02 予算額 47,047千円 R03 予算額 49,791千円 R04 予算額 58,151千円	R02 決算額 37,435千円 R03 決算額 40,186千円 R04 決算額 38,335千円				
担当課 自己評価	新型コロナウイルス感染症により、認定者数の変動がある。経済的に困難な家庭の状況が、子の学習や生活態度などの状況に大きな影響を与え得ること念頭に、学校と連携しながら、引き続き確実な援助を行っていく。 また、全児童生徒へのタブレット端末の付与が完了したことに伴い、令和4年度からオンライン通信費についても予算化し、支給を行った。					
(外部評価委員からの意見)						
・経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対しての就学費等の補助は是非必要なことであり、予算の確保に努めてほしい。なお、新入生に対しての一部支給を入学前に行うことは大変ありがたいことと思われる。 ・できる限り就学援助費が充実できる方向で取り組んでほしい。 ・貧富の格差が広がっている時代であり、市単独事業で取り組んでいただきありがたい。是非継続して実施してもらいたい。						
(意見を踏まえた今後の方向性)						
今後も、就学困難な児童生徒の保護者に対する経済的な支援を継続してまいります。また、時代のニーズを把握し、他市の状況を確認しながら、引き続き就学援助の適切な支援を行います。 併せて、支援が必要な保護者への確実な援助を行っていくため、制度の周知徹底を行います。						
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了					

※評価判定

- 拡 充 ・・・・事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 ・・・・概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 ・・・・現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃 止 ・完了 ・・・・事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校協働活動推進事業 (地域学校協働活動推進員配置事業)	担当課	生涯活動推進課
事業目的	・学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる体制の構築 ・地域の活性化や学校を核とした地域づくり ・地域住民（学校支援ボランティア）の知識や経験を生かす場の提供 ・教員が子どもと向き合う時間の確保		
事業内容	宇土市内の小中学校全てを対象に、地域住民から学校支援ボランティアを募り、環境美化・読み聞かせ・通学路の安全指導・学習支援などのボランティア活動を実施する。 また、市内7地区に地域学校協働活動推進員を配置し、学校からの要請に応じてボランティア活動を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって児童生徒を支援していくものである。		
R4年度の進捗状況	・ボランティア養成講座（2回） ・地域学校協働活動推進員等研修開催（2回） ・体験学習（38回）、校内環境整備支援（1回）、安全見守り活動（年間）、学習支援（丸付け支援）（0回）、読み聞かせ支援（対面形式4回）		
課題・問題点	令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、制限のある活動となった。感染対策を徹底したうえで、対面形式での活動は徐々に増えつつあるが、丸付け支援については実施できていない状況が続いている。		
予算額・決算額	R02 予算額 5 2 6 千円 R03 予算額 4 1 4 千円 R04 予算額 4 0 8 千円	R02 決算額 1 9 4 千円 R03 決算額 2 0 4 千円 R04 決算額 4 0 2 千円	
担当課 自己評価	新型コロナウイルスの影響で、対面形式の活動ができない状況が続いていた。感染対策を徹底したうえで、できる活動については実施していきたい。ボランティアについてはロコミ経由での申し込みが多いため、参加して良かったと思われるような活動となるよう心掛けたい。今後も、地域・学校・家庭が一体となり、継続して取り組んでいきたい。		
(外部評価委員からの意見)			
・学校教育の充実・発展のために地域住民の力を借りることができることは大変ありがたいと思う。ただ、思いもよらない事故等もあるかもしれないため、指導者に対しての保障（保険）などの対応もお願いしたい。 ・本事業の充実には、推進委員と学校の更なる話し合いをもって対応することが大切であると思われる。 ・継続してほしい。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
学校支援ボランティアに登録いただいている方全員に、ボランティア活動保険にご加入いただいております。怪我や事故等が発生した場合は、こちらの保険で対応します。 今年度から全ての小・中学校に国版のコミュニティ・スクールを導入し、その委員に推進員を加えてもらうことで、学校との連携強化に努めているところです。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了		

※評価判定

- 拡 充 ・・・・事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 ・・・・概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 ・・・・現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃 止 ・完了 ・・・・事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校協働活動推進事業 (放課後子ども教室推進事業)	担当課	生涯活動推進課
事業目的	放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全、安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々との参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
事業内容	・ 週2回（水曜日、金曜日）実施。水曜日は地域の方々と共に活動するふるさとタイム（スポーツや伝承遊びなど）を行う。金曜日は学習支援員による学びタイム（プリント学習など）を行う。 ・ 事業運営委員会（年2回）、及びスタッフ会議（学期ごと）の開催 ・ 教育委員会ALTとの交流や、県派遣のボランティアの活用		
R4年度の進捗状況	・ 網田小学校を対象に、全校児童96名のうち14名が参加 ※1年生3名、2年生7名、3年生4名 ・ 25回実施（学びタイム9回、ふるさとタイム16回） ・ 教育委員会ALTとの交流 ・ 事業運営委員会（2回、2回とも書面開催） ・ スタッフ会議（8月、12月の2回）		
課題・問題点	スタッフが高齢化、固定化してきているため、新規スタッフの確保を行い、来年度の加入者数を増やすため、広報やホームページなどで内容などの周知を更に充実させる必要があると考える。		
予算額・決算額	R02 予算額 5 9 6 千円 R03 予算額 4 8 2 千円 R04 予算額 4 8 3 千円	R02 決算額 1 6 0 千円 R03 決算額 2 1 2 千円 R04 決算額 3 9 0 千円	
担当課 自己評価	2学期から、学びタイムも再開され、昨年度よりも内容の充実を図れたのではないかと思います。体験活動では、化石のレプリカづくりやドローン操縦体験など、学校のなかではあまり体験する機会が少ない活動も取り入れた。今後も、地域のボランティアスタッフと連携し、内容充実に努めたい。		
(外部評価委員からの意見)			
・ 子どもたちを地域で育てるという環境の下で実施するということは大変素晴らしいことである。今後ともスタッフの確保に努めてほしい。 ・ スタッフの高齢化が課題であるが、新規スタッフの受け入れを充実してほしい。 ・ 他の学校でもこの事業ができるように努力してほしい。 ・ 伝統ある事業です。網田小だけの事業であるため、続けてほしい。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
新規スタッフ確保の課題は、今後も継続してご協力いただける方の情報収集に努めていきます。 子ども数の人数が減る中、今年度は20名の子ども達の参加があり、今後も子ども達が参加したいと感じる内容の活動を企画し、地域住民の方のご協力を得ながら、充実した活動ができるよう取り組みます。 放課後子ども教室を実施したくとも様々な事情から難しいという学校も多々ある中、長きに渡って実施している網田小学校での事業を今後も継続できるよう、学校・地域の方々と連携を図り、活動内容の周知、更なる事業の充実につなげていけるよう努力してまいります。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了		

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	子ども見守りボランティア事業	担当課	生涯活動推進課	
事業目的	近年、登下校時の事件や事故による子どもたちの被害が増えており、子どもたちを取り巻く環境は厳しい状況にある。そこで、登下校時の児童生徒を地域全体で見守ることにより、子どもの安全を確保し、子どもたちが安全で安心して健やかに育まれる地域社会の実現を目的とする。			
事業内容	登下校時の通学路における子どもたちの見守り活動 ・児童生徒の登下校時の見守り及びあいさつ・声かけ ・学校周辺及び通学路の巡回 ・事故発生時や不審者等の発見時に警察・学校・関係部署への連絡 等			
R4年度の進捗状況	・登下校ルートの定期的な防犯パトロール（月1回） ・令和4年度子ども見守りボランティア講習会の開催（11月） ・R5年3月末現在のボランティア数は135名			
課題・問題点	・ボランティアの増加数は微増。今後も広報紙、ホームページ、チラシ等での募集が必要 ・今後も講習会等で情報共有の場を設け、ボランティアの資質の向上が必要			
予算額・決算額	R02 予算額 R03 予算額 R04 予算額	0千円 394千円 214千円	R02 決算額 R03 決算額 R04 決算額	0千円 394千円 186千円
担当課 自己評価	見守りボランティアの方々の活動によって、交通事故防止や犯罪等の抑止力となっている。今後も地域や関係機関等と連携して見守り、子ども達にとって安全な環境を作っていきたい。			
(外部評価委員からの意見)				
・通学路の安全確保のための学校支援ボランティアとの重なりもあるが、登録者も増えているようでありがたい。会員の資質の向上と共に活動の充実が望まれる。 ・保護者にとって子どもの安全が第一だと思われる。継続してほしい。				
(意見を踏まえた今後の方向性)				
ボランティアの資質向上のため、例年、講習会を実施し、危険箇所の洗い出し等、情報収集や意見交換を行っています。今後も学校や警察との連携を図るとともに、チラシ・うと広報・ホームページ等でボランティア員の確保に努め、事業の充実に向けて取り組んでいきます。				
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃止・完了			

※評価判定

- 拡 充 ・・・・事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 ・・・・概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 ・・・・現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 ・・・・事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域教育力活性化事業	担当課	中央公民館
事業目的	少子高齢化、情報社会の進展等、子供を取り巻く地域の新たな教育課題に対応し、地域において人間性豊かな子供を育てる環境を充実させるため、地区公民館を軸として地域の人的、物的教育資源等を活用しながら、週末等に様々な体験活動を実施し、地域教育力の活性化を図る。		
事業内容	・地区公民館で地域住民の協力のもと、異なる年齢の子供たちによる遊びや体験活動を通じ、自主性、創造性を育む。 ・地域住民と子供たちとの世代間のふれあい交流体験活動を通じ、「地域の子供は地域で育てる」気風を育てる。		
R4年度の進捗状況	・子供地域活動（青空教室）・・・7地区公民館で芋の収穫等の農業体験、環境学習、施設見学、料理教室、伝統文化体験等を実施。計39回開催、参加者延824人（内支援者264人） 新型コロナウイルス感染症の影響により、講座内容によっては対象年齢を限定及び日程を変更するなど、試行錯誤しながら感染対策を行い、実施することができた。 ※通学合宿（3泊4日）は、新型コロナウイルス感染症の影響により全地区中止		
課題・問題点	地域住民等の要望を踏まえながら、公民館職員が自ら講師となったり、保護者にも参加してもらったり、地域住民に協力を仰いだりするなど、講座内容を工夫しているところであるが、講座内容によっては参加者が少なかったり、講師等協力者探しに苦慮したりすることがあり、今後も活動を継続・拡充するための、新しい講座内容の検討や協力者の確保が課題である。		
予算額・決算額	R02 予算額 814千円 R03 予算額 823千円 R04 予算額 815千円	R02 決算額 155千円 R03 決算額 181千円 R04 決算額 164千円	
担当課 自己評価	少子高齢・情報化社会の進展、さらにスポーツクラブや習い事等、子供たち（特に高学年）は学校外で、異なる学年や世代と交流する時間が減ってきている。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度も事業の中止または縮小を余儀なくされた。その中であっても、各公民館では可能な限り工夫を凝らして実施してきた。今後はより一層、関係する全ての人々が満足してもらえるような講座を計画、実施していきたい。		
(外部評価委員からの意見)			
・子どもたちの地域集団等での活動や、異年齢集団での活動など必要なことだと思う。小学4年生以上は、クラブ活動などがあるが、低学年に対しては良い事業だと思う。 ・活動に参加する児童が全児童に対し少ないので、十分な成果が上がっているか不安も大きい。貴重な体験活動であるので、是非とも充実させてほしい。 ・地域住民の活動と共に子どもたちの体験活動を充実し、地区公民館としての役割を充実してもらいたい。中央公民館からの支援の拡充をお願いしたい。 ・各学校との連携を充実してほしい。 ・「宇土市歴史観光ボランティアの会」の活動を当事業に結びつける事ができると思われる。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
活動に参加した子供たちや地域の方々の感想・意見を例年、アンケート等で聞き取っています。地域にとってより一層有意義なものとなるよう、各公民館の間で人材紹介や講座の感想等の情報共有を行いながら、今後も工夫・改善に努めていきます。また、中央公民館としては、地区公民館の要望を柔軟に受け止め、サポートしていきます。 小学校に対しては、公民館講座の講師をお願いしたり、お互いの行事等に参加したりするなど、連携を取っているところであり、これからも良い関係を築いて積極的に関わり、連携強化を図っていきます。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃止・完了		

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	史跡宇土城跡保存整備事業	担当課	文化課
事業目的	史跡宇土城跡は、中世城跡としては県内で最初に国指定史跡となった貴重な文化財であり、恒久的に保存するため適切な維持管理を行うとともに、発掘調査の成果に基づいた整備を実施し、市民の憩いの場や野外博物館的な施設として生涯学習等の拠点とする。加えて、体験発掘やキャスルウォーキングといった市民参加型のイベントを通じ、重要な地域資源として認知度向上を図るとともに、まちづくりの拠点としても活用することを目的とする。		
事業内容	保存整備工事を昭和56年度から着手するとともに、史跡整備を目的とした発掘調査を平成2年度（4次調査）から実施している。城跡東側の西岡神宮北側地区（第1ブロック）及び城の中心をなす千畳敷及び周辺地区（第2ブロック）は、平成18年度までに保存整備を終了し、史跡公園として市民に公開している。また、19年度から三城及び周辺地区（第3ブロック）の保存整備に着手し、25年度までに整備をおおむね完了した。その後、長期計画に位置付けられる貝塚地区・空堀地区（第4・5ブロック）の発掘調査に着手し、調査成果を反映した整備を計画している。 なお、本事業は国庫補助金を得て実施している（補助率50％〔災害復旧は70％〕。事業費が10,000千円を超える場合は、県の嵩上げ補助5％）。		
R4年度の進捗状況	城跡西端部の空堀地区（第5ブロック）において、南北方向に配置される大型横堀跡の範囲確認を目的として地中レーダー探査を実施した。その結果、堀跡や土塁跡の痕跡と推定される反応を確認した。 その他、令和2年7月豪雨で法面が崩落した第5ブロック西側の災害復旧工事を行った（令和2年7月豪雨災害対策経費（史跡宇土城跡保存整備事業）で実施）。		
課題・問題点	地中レーダー探査によって埋没した堀跡や土塁跡とみられる反応を確認したが、これらの遺構とみられる痕跡を発掘調査で実際に検出し、規模等を明らかにする必要がある。当該堀跡の規模は南北約350mと極めて大型であることから、城郭遺構としての評価は有識者の意見等をふまえて十分な検討を行い、整備に反映する必要がある。		
予算額・決算額	R02 予算額 2, 3 4 7 千円 R03 予算額 2, 2 4 5 千円 R04 予算額 1, 4 3 4 千円	R02 決算額 2, 2 5 6 千円 R03 決算額 2, 1 5 1 千円 R04 決算額 1, 3 6 0 千円	
担当課 自己評価	平成25年度から着手した第5ブロックの調査については、熊本地震や豪雨災害の影響で計画が遅延したものの、着実に進んで現在に至る。今後も城跡を地域資源として活用し、事業成果を市民に還元できるよう適切な調査・整備を実施していきたい。		
(外部評価委員からの意見)			
・毎年少しずつでも保存事業を計画的に実行してほしい。国の補助金を大いに活用していくべきだと思われる。 ・地域資源として、まちづくり拠点として、今後も活用してほしい。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
・史跡宇土城跡の発掘調査を継続的に実施し、遺構の性格や時期等の解明に努めるとともに、調査成果を反映した整備・活用を進めます。 ・史跡宇土城跡の本質的価値について積極的に情報発信し、市民の理解と関心を高める取組みを推進します。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止・完了		

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実に継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃 止・完了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	大太鼓活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市には、江戸時代から明治時代にかけて製作された国指定重要有形民俗文化財の雨乞い大太鼓が多数現存している。本事業は、これらの雨乞い大太鼓を地域資源として活用し、文化振興や地域活性化を図ることを目的としている。		
事業内容	宇土大太鼓フェスティバル開催に係る補助金事務や関連業務の支援を行う。また、宇土雨乞い大太鼓保存会青年部（宇土天響太鼓）の協力を得て、太鼓教室を開催し、大太鼓フェスティバルで練習成果を発表する。その他、地区保存会の雨乞い大太鼓を活用した取組みを支援する。		
R4年度の進捗状況	宇土大太鼓フェスティバルについては、近年の猛暑対策として、これまで8月第1土曜日だった開催日を10月最終日曜日の30日に変更して3年ぶりに開催し、多くの来場者で賑わった。 同じく3年ぶりに開講した太鼓教室は、7月から10月にかけて毎週火曜日に実施し、練習の成果を大太鼓フェスティバルで披露した。		
課題・問題点	コロナ禍の影響や少子高齢化等による地区保存会の活動の停滞が危惧される。実際、令和4年度の宇土大太鼓フェスティバルには、実行委員会からの積極的な働きかけがあったものの地区保存会の出演はかなわなかった。地区保存会の活動がなくなると伝統的な雨乞い太鼓の保存継承が困難となることから、地域の伝統行事や大太鼓フェスティバル等の太鼓演奏を披露する催事への積極的な参加が望まれる。		
予算額・決算額	R02 予算額 394千円 R03 予算額 454千円 R04 予算額 1,254千円	R02 決算額 184千円 R03 決算額 196千円 R04 決算額 1,188千円	
担当課 自己評価	今後も雨乞い大太鼓を貴重な文化財として適切に維持・管理するだけでなく、太鼓演奏等での活用を通じて、宇土の太鼓文化の魅力を広く発信する必要がある。また、地域に伝えられてきた伝統的な雨乞い太鼓の保存継承のため、関連団体を引き続き支援する。		
(外部評価委員からの意見)			
・平成29年国指定の重要有形民俗文化財の雨乞い大太鼓を中心に、その他の地域資源等様々な文化の保存・継承を推進し、地域の活性化に努めてほしい。 ・宇土市大太鼓フェスティバルが3年ぶりに開催されたのは良かった。来年度も10月頃の開催が望ましいと思われる。 ・雨乞い大太鼓の保存も継続して魅力ある太鼓の普及に力を入れてほしい。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
・雨乞い大太鼓を活用した催事等を実施し、宇土が誇る太鼓文化の振興や情報発信に積極的に取り組む。 ・停滞している地区保存会の取組みを活性化できるよう、宇土天響太鼓等の地元の太鼓団体の協力を得て活動を支援する。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充	維 持	要 改 善 ・ 廃止・完了

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	図書館蔵書充実事業	担当課	図書館
事業目的	市民の知識・学習の拠点として、図書館蔵書の充実を図ることにより、市民サービスの向上を目指す。		
事業内容	年間を通じ図書資料の購入を行い、図書館所蔵及び図書館サービスの充実を図る。		
R4年度の進捗状況	令和4年度の図書購入費は5,098千円、購入冊数は2,898冊		
課題・問題点	所蔵図書の劣化、古い情報書の見直しや不明本が多く発生している現状から、買い替えをするための予算確保が必要である。また、実用書や小説、行事絵本等、配本サービス用の図書も同様に、見直しや買い替えを行う必要がある。		
予算額・決算額	R02 予算額 4,250千円 R03 予算額 5,100千円 R04 予算額 5,100千円	R02 決算額 4,250千円 R03 決算額 5,035千円 R04 決算額 5,098千円	
担当課 自己評価	予算の範囲内で図書の購入・充実はできているが、他市町村図書館と比較すると予算額・蔵書数ともに低い状況である。今後は、蔵書数増とともに、書架の増設を行う等、環境の見直しを行い、市民のニーズに応じた図書館を目指したい。		
(外部評価委員からの意見)			
・不明本が多いのはとても残念であり、対策をお願いしたい。蔵書も少しずつ増えており、ありがたい。市民の交流の場として積極的な利用をしてもらう工夫をお願いしたい。 ・市民のニーズに応じた図書館を目指してほしい。			
(意見を踏まえた今後の方向性)			
・不明本については、新刊や準新刊などの人気がある本をカウンター近くの目につきやすい場所に移し、盗難対策を行っている。また、今後、防犯カメラの設置を予定している。 ・今後は、本を読む場としてだけでなく、人と人をつなぐコミュニティ形成の場として、会話できるスペースや飲食できるスペースを設け市民が集う施設を目指します。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃止・完了		

※評価判定

- 拡 充 …… 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 …… 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 …… 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 …… 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

令和5年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土市学校給食費等支援金事業		担当課	学校給食センター
事業目的	学校給食センターが提供する学校給食に係る学校給食費の一部を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の長期化等に伴う物価高騰等の影響を受けている子育て世帯の経済的な負担軽減を目的とする。			
事業内容	令和4年度の事業内容 令和4年12月1日から令和5年2月28日までの期間の給食に対して、一食当たり園児230円、児童250円、生徒290円の支援金を交付する。 支援金の交付対象者は、保護者が負担する学校給食費を当該保護者に代わり負担した宇土市学校給食センター運営委員会とする。			
R4年度の進捗状況	令和4年度中に事業は完了した。実際に支援した食数は156,673食となり、支援金額は40,939,310円となった。なお、当該金額のほかに、既以前納された保護者に対して、支援金相当額の返金を行い、振込手数料245,081円が発生した。よって、支援金事業合計で41,184,391円となった。			
課題・問題点	年度途中に急遽支援金事業を実施したため、前納者に対する返金事務作業及び振込手数料が発生したことは課題である。			
予算額・決算額	R 02 予算額 R 03 予算額 R 04 予算額	0千円 0千円 43,000千円	R 02 決算額 R 03 決算額 R 04 決算額	0千円 0千円 41,185千円
担当課 自己評価	物価高騰の中、国の補助金を活用して、保護者の経済的負担軽減を行うことができた。しかしながら、単年度の補助事業であるので、今後、継続的に保護者の負担軽減が行えるような事業に取り組んでいきたい。			
(外部評価委員からの意見)				
・学校給食費の3箇月間の支援補助は、保護者の経済的な負担軽減措置として有効であったと思われる。今後も検討の余地はあると思われる。 ・この事業は新規事業なのか。国等の補助金の活用も考えて、保護者の経済的負担の軽減を図ってほしい。				
(意見を踏まえた今後の方向性)				
・今回の支援は今年度で完了となるが、今後も活用可能な国の補助金等を情報収集し、学校給食費への支援に繋げていきたい。				
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止 ・ 完 了			

※評価判定

- 拡 充 . . . 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
 維 持 . . . 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
 要 改 善 . . . 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
 廃止・完了 . . . 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

Ⅲ 教育委員会の活動状況

Ⅲ 教育委員会の活動状況

1 委員会議の開催状況

宇土市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、教育長と教育委員が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

令和4年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりです。

期日	場所	付議事件
令和4年4月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 学校給食センター給食物資納入指定業者の選定について 宇土市立小・中学校遠距離通学費の支給に関する規則の一部を改正する規則について 令和4年度宇土市学校教育努力目標について 令和4年度宇土市幼稚園教育努力目標について 令和4年度宇土市生涯学習努力目標について 令和4年度宇土市人権教育推進努力目標について 令和4年度宇土市社会体育努力目標について 令和4年度宇土市文化振興努力目標について 令和4年度宇土市立図書館努力目標について 令和4年度宇土市学校給食センター努力目標について 令和4年度宇土市立小中学校教務主任等の任命について 令和4年度学校評議員の委嘱について 令和4年度幼稚園評議員の委嘱について 令和4年度宇土市入学準備祝金採用者の選考について スポーツ功労者の表彰について 宇土市スポーツ推進委員の委嘱について
令和4年5月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 損害賠償額の決定について(文化課) 財産の取得について(電子黒板一式(学校教育課)) 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について(花園小学校) 学校運営協議会委員の任命について(走潟小学校) 学校運営協議会委員の任命について(緑川小学校) 学校運営協議会委員の任命について(網津小学校) 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について(住吉中学校)

		学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について（網田小学校・網田中学校） 宇土市社会教育委員の委嘱について 宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について 宇土市立図書館協議会委員の任命について 宇土市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 宇土市学校給食専門委員会委員の委嘱について 令和4年度宇土市一般会計補正予算について
令和4年6月10日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	（議決事項） 宇土市教育支援委員会委員の委嘱について 宇土市通学路安全推進会議委員の委嘱について 宇土市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 学校運営協議会委員の任命について（網津小学校） 令和4年度学校評議員の委嘱について（宇土東小学校）
令和4年7月11日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	（議決事項） 宇土市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について 教育功労者の表彰について 宇土市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について
令和4年8月10日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	（議決事項） 令和4年度宇土市一般会計補正予算について 特別支援学級への転入及び転籍について
令和4年9月13日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	（議決事項） 特別支援学級等への就学及び転籍について 宇土市教育委員会規則の読点の表記を改正する規則について 宇土市教育委員会告示の読点の表記を改正する要綱について
令和4年10月12日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	（議決事項） 特別支援学級等への就学及び転籍について
令和4年11月10日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	（議決事項） 専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第8号 宇土市一般会計補正予算について 宇土市社会体育施設指定管理者の指定について 宇土市民体育館ネーミングライツ審査委員会委員の委嘱について 宇土市ジュニアスポーツ応援委員会委員の委嘱について 令和4年度宇土市一般会計補正予算について
令和4年12月12日 （定例会）	教育委員会 2階会議室	（議決事項） 特別支援学級等への就学及び転籍について

令和5年1月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 特別支援学校及び学級への就学及び転籍について
令和5年2月14日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 令和5年度学校産業医の委嘱について 令和5年度宇土市立学校内科医、眼科医、耳鼻科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について 児童・生徒の表彰について 特別支援学級等への就学について 令和4年度宇土市一般会計補正予算について 令和4年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計補正予算について
令和5年2月25日 (臨時会)		(議決事項) 学校等教職員の異動について
令和5年3月14日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 宇土市一般会計補正予算について 特別支援学校への就学について 特別支援学級等への就学及び転籍について 宇土市社会教育委員の委嘱について 宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について 轟泉水道及び旧高月邸保存活用検討委員会委員の委嘱について 宇土市民会館指定管理者運営評価委員会委員の委嘱について 宇土市立図書館協議会委員の任命について 令和5年度宇土市一般会計予算について 令和5年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計予算について

2 総合教育会議

期日	場所	協議事項等
令和5年2月14日	市役所仮設 庁舎 2階来賓室	(協議事項) 特別支援教育（重度の障がい児童の受け入れ）について 中学校運動部活動から社会体育クラブへの移行の課題について

3 その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、適宜、各種会議、関係行事へ出席をしています。

令和4年度における、その主な活動は次のとおりです。

- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・熊本県市町村教育委員大会
- ・教育委員行政視察研修
- ・学校訪問
- ・各小中学校入学式・卒業式
- ・各幼稚園運動会・各小学校運動会・各中学校体育祭
- ・二十歳の祝典（旧成人式）
- ・その他各種イベント事業への出席

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や中止となった行事もあります。

【宇土市教育委員会委員名簿】

(令和5年10月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	おおた やすゆき 太田 耕幸	令和3年10月1日から令和6年9月30日まで
委員長職務代理者	こんどう おさむ 近藤 修	令和2年10月1日から令和6年9月30日まで
委 員	しらい まさはる 白井 正晴	令和5年10月1日から令和9年9月30日まで
委 員	たけもと さよこ 岳元 さよ子	令和3年10月1日から令和7年9月30日まで
委 員	くろだ すみこ 黒田 須美子	令和4年10月1日から令和8年9月30日まで